

(様式6-3)

研修等 報告書

平成 29 年 8 月 23 日

三田市議会議長 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	公明党	代表者	私岡信生
		議員名	大西雅子
参加者氏名	大西雅子		
講演会等研修名	議員・職員のための議会広報セミナー		
研修事項	・目に見えて進む広報改革～かつての「常識」に大きな変化～ ・もっと読まれる広報紙～制作ノウハウとクリニック～		
日 時	平成 29 年 7 月 26 日 (水) ～ 29 年 7 月 27 日 (木)		
場 所	アットビジネスセンター池袋駅前別館		
所 見	・別紙記載		
添付資料	・ ・ ・ ・		

6 添付書類（講演会内容のパンフレット等）

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）

【 議員・職員のための議会広報セミナー 】 研修会所見

◆目に見えて進む、議会広報改革◆

◆もっと読まれる広報紙へ◆

午前の講座では、議会広報の現状と課題。そして議会報の変化。議会の活性化は住民参加を取り入れていく事など、さまざまな議会報を紹介しながら市民に読んでもらえる議会報への対策を聞かせていただいた。

まず議会報を読んでもらうという事よりも、議会報の存在を知ってもらうこと。そうでないと何も始まらない。との話しで始まった。もっともなことである。

ここで、あきる野市の調査結果を紹介。あきる野市では、2016年9月調査を実施。その結果「議会報の存在を知らない」「読まない」という市民が半分を占めていることが分かった。認知度の低い理由として、戸別配布がされていないからであった。

本市は全戸配布であるが、どれだけの方が手に取り、読んでもらえているのか、今後実態調査も必要であると感じた。

また市民に読んでもらえる議会報にするには、「ネットの速報性や新聞報道にはない情報の付加価値をつけること」との話しは、常々試行錯誤していたところでもあったので大変参考になった。今後、重要案件が議決に至るまでの過程や審議の中身が、市民に分かりやすく発信できるよう、見出しの言葉。配列など見せ方にも工夫を凝らしていかなければならない。

その他にも情報を住民目線で選択・整理していくこと。そして住民参加型に。この点においては、本市は数年前に比べると少し後退をしてしまったように感じられる。今後もっと住民参加型の紙面構成にも取り組んで行きたいと感じた。

午後の講座では、参加している各市町の中から13の議会報を取り上げ、もっと読まれる広報紙にするには、どのようにしたら良いか評価して頂いた。

このなかで三田市の議会報も紹介をしていただき、全体的な紙面構成においては高く評価をしてもらったが、細かい箇所の課題を指摘していただいた。

今回資料提供したのは2017年6月号の「つなぐ」である。6月号のP2には視察記事を掲載。この箇所では今後より読まれる広報紙にするには、視察参加議員のコメントや議員の後ろ姿の写真ではなく、顔写真にした方が市民によりリアル感を伝えることができる。

またP5 議会報告会の中で、参加者のアンケート記事の掲載方法について、市民の顔写真を入れてはどうか。入れることで住民参加型の紙面になる。あと見出しは、もう少し工夫が必要とのコメントを頂いた。貴重なアドバイスをいただけたと思う。今後の広報紙づくりに活かしていけるよう努める。

他市の評価の中でも色使い。紙面の区割り。特に注目して欲しい箇所には、インパクトある見出しが重要。また情報整理した読みやすい記事の書き方。閉会中の活動の見せ方。見出しは、決まったことを日常の言葉で分かりやすく伝えていくことなど他市の広報紙の評価内容も非常に参考になった。

今後の議会報が、より付加価値をつけた議会の情報が、分かり易く市民に発信していけるように努めていく。

(文責：大西)

議員・職員のための

議員・職員のための 議会広報セミナー in 東京



講師 吉村 潔
【エディター・広報アナリスト】

上場企業の広報を中心に大学広報、会員誌などの制作に長年携わる。
日本広報協会・広報アドバイザー。全国広報コンクール審査委員（広報紙部門・写真部門）。
町村議会広報表彰審査委員。市町村アカデミー（行政広報・議会広報）講師。著書に『実践
広報紙づくり』『広報ハンドブック～メディアづくりのノウハウ～』等がある。「月刊広報」（日
本広報協会）に「議会広報の改革はどこまで進んできたか」を連載（2014年）。「地方議会
人」（中央文化社）で「市町村議会広報クリニック」を隔月担当。

目に見えて進む広報改革 ～かつての「常識」に大きな変化～

7月27日(木) 10:00～12:30

1. 議会広報の現状と課題

- (1) 現状維持は間違いなく「後退」
- (2) 定例会のレポートでは済まない
- (3) 議会報告会の広報を見直す

2. 住民参加が広報を変える

- (1) 広報企画での広聴活動が活発化
- (2) 従来とは異なるアプローチ
- (3) 住民参加による多様な協働広報

3. 注目したい先進事例

- (1) 議会改革＝広報改革になっていない
- (2) 議会広報の先進事例 5
- (3) 刷新が急務のHPとモバイル対応

もっと読まれる広報紙へ ～制作ノウハウとクリニック～

7月27日(木) 14:00～17:00

1. 広報紙づくりのスキルアップ

- (1) 広報紙の企画・編集
- (2) 表紙デザインのコツ
- (3) 写真の撮り方・使い方
- (4) 本文レイアウトのポイント
- (5) 読まれる原稿づくりのヒント

2. クリニック

- (1) 広報紙の全体評価
- (2) コンテンツ別の評価
- (3) アドバイス

* 議会広報紙をご提供ください

(株)地方議会総合研究所